

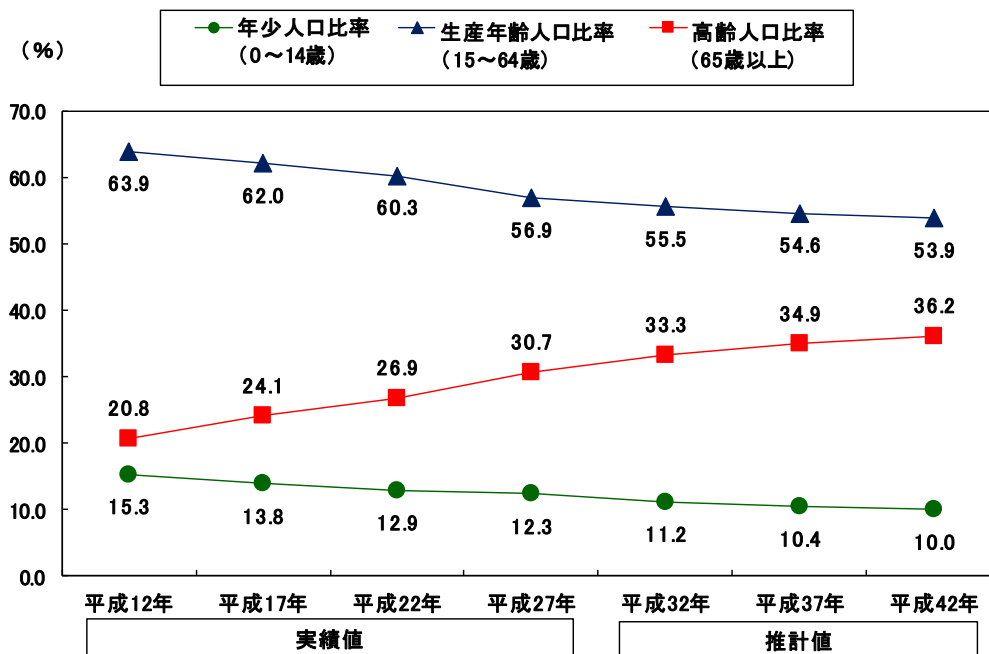
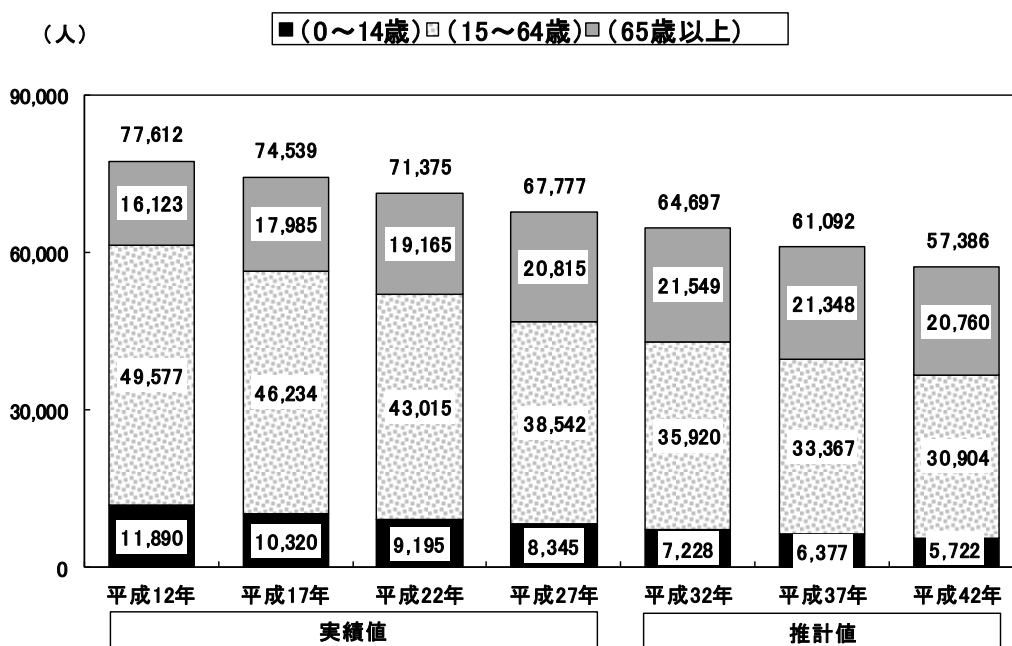
第2章 本市の福祉をとりまく状況

第1節 本市の福祉をとりまく状況

(1) 少子高齢化の進行

柳川市の総人口が平成12年以降減少傾向にある中、少子化、高齢化の傾向は依然として変わりません。年少人口は平成27年の12.3%から平成42年には10.0%、高齢化率は平成27年の30.7%から平成42年には36.2%と予想され、超少子高齢社会が拡大しています。

■ 年齢別人口の推移 ■



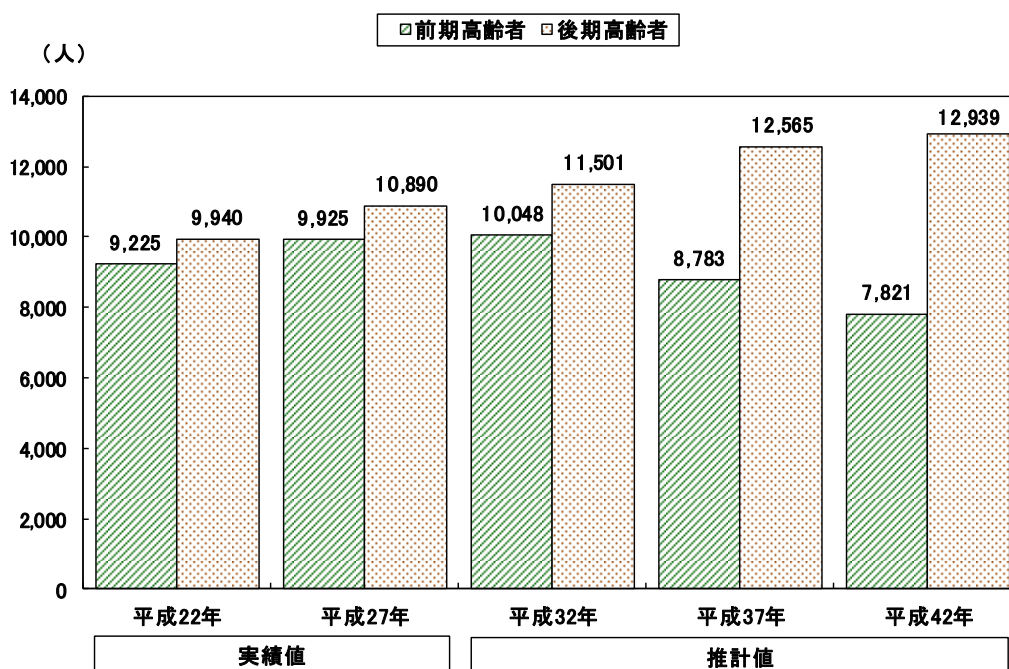
注：人口総数には年齢不詳者も含まれているため、年齢3区分の積み上げ人口には一致しない場合がある。

注：人口割合については、年齢不詳を除いて算出している。

資料：実績値は国勢調査、推計値は国立社会保障・人口問題研究所推計

65歳以上の老年人口の内訳をみると、65～74歳の前期高齢者は平成32年の10,048人をピークに減少し、平成42年には7,821人と22%減少するのに対し、75歳以上の後期高齢者は平成32年の11,501人から平成42年には12,939人と13%の増加となっています。「団塊の世代」が高齢期を迎えることによるものです。

■前期・後期高齢者人口の推計■



資料：実績値は国勢調査、推計値は国立社会保障・人口問題研究所推計

(2) 高齢者ひとり暮らし世帯などの増加

過去5年間の高齢者ひとり暮らし世帯数と高齢者夫婦のみ世帯数の推移をみると、いずれも増加しており、総世帯数に占める割合も、5年間で前者は2.1ポイント、後者は1.5ポイント増加しています。一方、母子世帯・父子世帯数は、ほぼ横ばいとなっています。

■高齢単身世帯などの推移■

項目	平成22年		平成27年	
	世帯数	構成比(%)	世帯数	構成比(%)
総世帯数	23,289	100.0	23,398	100.0
高齢者ひとり暮らし世帯数	2,020	8.7	2,537	10.8
高齢者夫婦のみ世帯数	2,103	9.0	2,468	10.5
母子世帯数	410	1.8	406	1.7
父子世帯数	41	0.2	32	0.1

資料：国勢調査

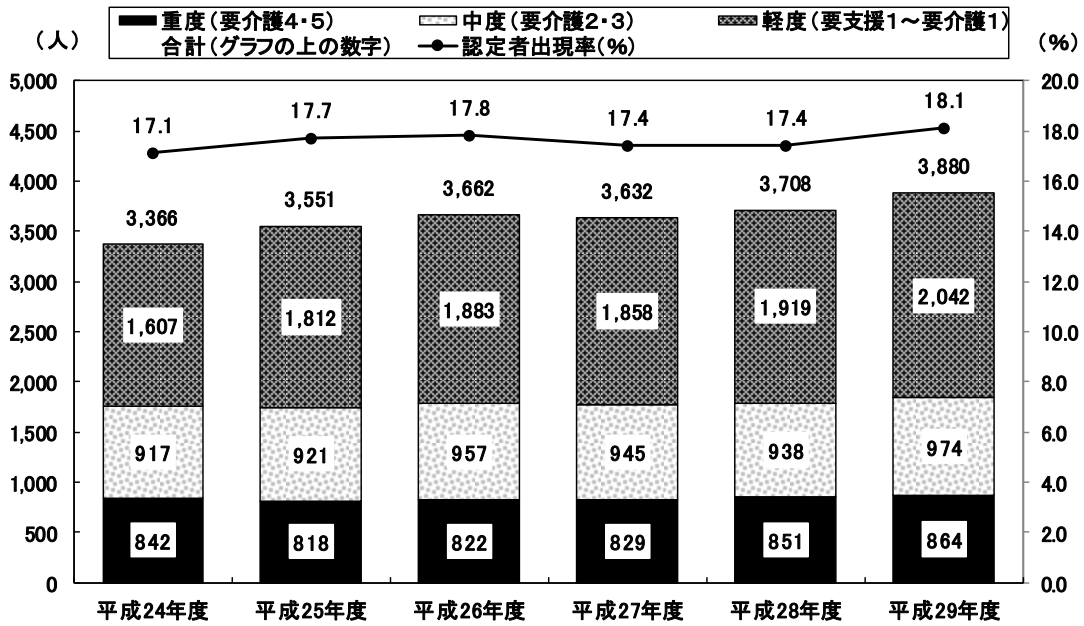
(3) 支援を必要とする住民の状況

①要介護（要支援）認定者の推移

本市の要介護（要支援）認定者は毎年増加しており、平成 29 年 9 月末時点では 3,880 人、認定者出現率は 18.1%となっています。

また、要介護度別にみると、軽度（要支援 1～要介護 1）の増加と比べて中度（要介護 2・3）、重度（要介護 4・5）の増加が抑えられており、現時点までの介護事業の取り組みの効果はあがっていると推測されます。

■要介護（要支援）認定者推移■

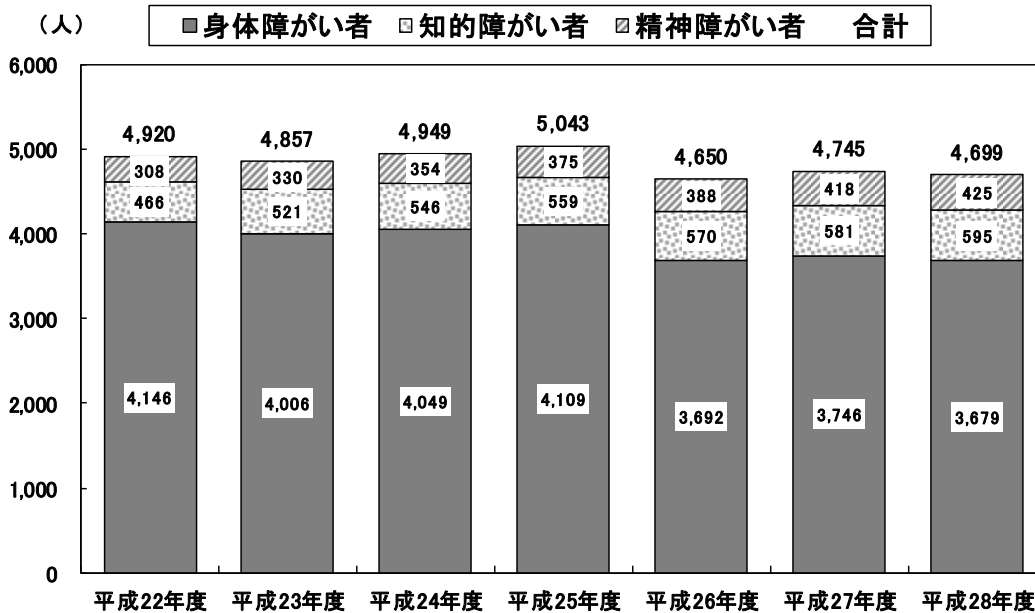


資料：福岡県介護保険広域連合

②障がいのある人の動向

障がい種類別にみると、身体障がい者は減少していますが、知的障がい者、精神障がい者は増加傾向にあります。

■障がい種別障がい者数の推移■



資料：柳川市福祉課（各年度 3 月末現在）

③老人クラブの動向

老人クラブの会員数は平成 24 年度の 12,303 人から平成 28 年度には 11,526 人に減少しています。また、単位老人クラブ数も平成 24 年度には 191 クラブでしたが、平成 28 年度には 182 クラブに減少しています。

■老人クラブの推移■

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
会員数(人)	12,303	12,165	11,934	11,747	11,526
単位老人クラブ数(クラブ)	191	191	185	185	182

資料：柳川市福祉課（各年度 3 月末現在）

④児童扶養の動向

ひとり親家庭などの児童のための「児童扶養手当」の受給者数は、平成 24 年度の 9,109 人から減少して平成 28 年度に 8,878 人となっています。

■児童扶養手当受給者数の推移■

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
受給者数(人)	9,109	8,953	8,972	8,969	8,878

資料：柳川市子育て支援課（各年度 3 月末現在）

⑤生活保護世帯の動向

生活保護世帯数は平成 24 年度の 704 世帯から平成 28 年度には 694 世帯に減少しています。また、人員も平成 24 年度の 1,032 人から平成 28 年度には 941 人に減少しています。

■生活保護の被保護人員・世帯数の推移■

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
世帯数(世帯)	704	704	701	703	694
人員(人)	1,032	1,013	997	976	941
保護率(%)	1.45	1.45	1.44	1.42	1.39

注：保護率は、「被保護人員」÷「各年度 3 月末現在の住民基本台帳人口」×100 で算出

資料：柳川市生活支援課（各年度 3 月末現在）

⑥児童虐待相談件数の動向

児童虐待相談件数（柳川市内の実績）は、平成 24 年度は 133 件から一旦増加したものの、平成 28 年度は 87 件に減少しています。

■児童虐待相談件数の推移■

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
相談件数(件)	133	142	132	86	87

資料：福岡県児童相談所事業概要（各年度 3 月末現在）

⑦DV相談件数の動向

DV相談件数は、年度によって差があり、平成24年度は298件、平成28年度には151件となっています。

■DV相談件数の推移■

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
相談件数(件)	298	107	162	187	151

注：来庁実績（延件数）

資料：柳川市子育て支援課（各年度3月末現在）

⑧自殺者数の動向

自殺者数は、平成24年度は18人、平成28年度は14人となっています。

■自殺者数の推移■

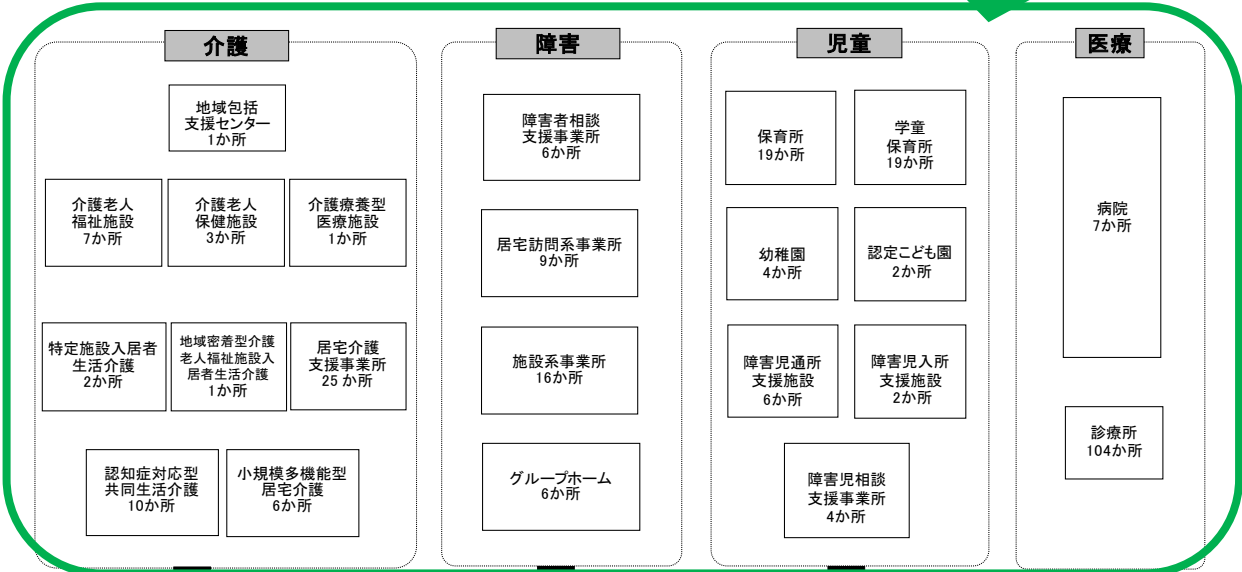
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
人数(人)	18	15	12	14	14

資料：福岡県保健統計年報（各年度3月末現在）

(4) 市内の主な地域資源の状況

市内の主な地域資源の状況

公的・民間を含めた
福祉・医療施設



要介護認定者
3,688人

自立支援給付者
(介護給付、
訓練等給付)
444人

保育所児童
1,930人
幼稚園児童
160人
認定こども園児童
251人
学童保育所児童
744人

支援を必要とする
住民など

高齢者人口 (65歳以上)
21,440人
高齢化率
31.8%
一人暮らし高齢者
3,882人
高齢者のみ世帯
7,019世帯

身体障害者
3,679人
知的障害者
595人
精神障害者
425人

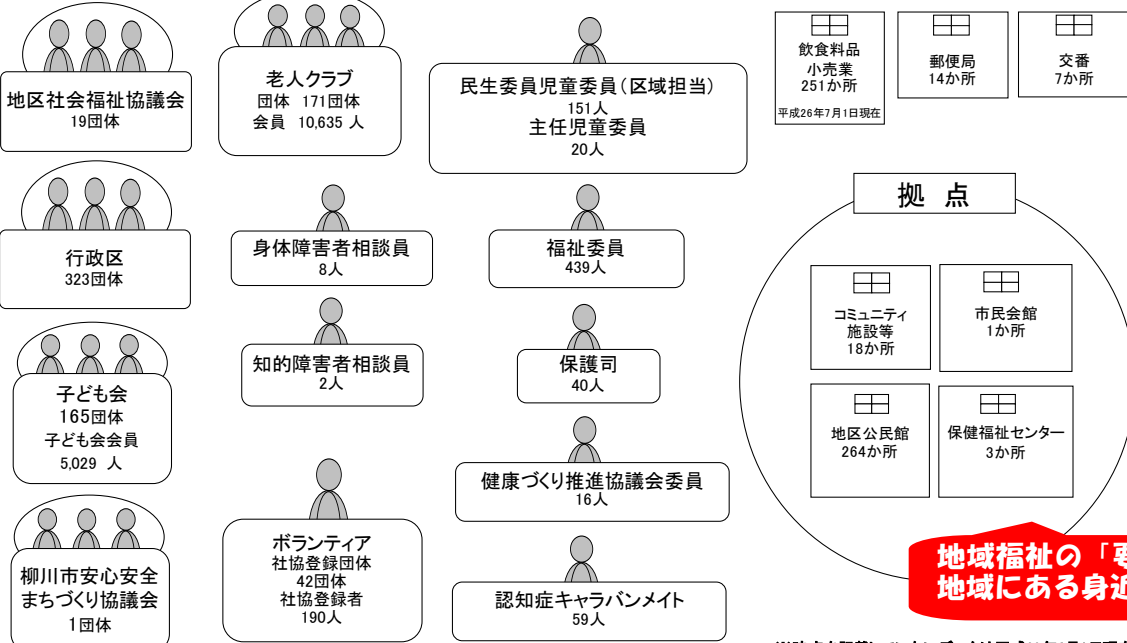
年少人口 (15歳未満)
8,292人
小学生 3,430人
中学生 1,864人

児童扶養手当支給世帯
763世帯

被保護世帯・人数
690世帯・994人

人口 67,490人
世帯数 25,244世帯
(住民基本台帳より)

住民に身近な資源



※時点を記載していないデータは平成29年4月1日現在

(5) 民生委員児童委員や福祉委員の状況

① 民生委員児童委員

民生委員児童委員は、民生委員法に基づき、住民の中から選ばれ都道府県知事の推薦を受けて厚生労働大臣が委嘱します。任期は3年で、児童福祉法の規定により児童委員を兼務しています。民生委員児童委員の中には児童福祉問題を専門に担当する主任児童委員がいます。

主な職務は、以下のとおりです。

- ・ 住民の生活状態を把握し、要援護者の自立への相談・助言・援助を行うこと。
- ・ 要援護者が福祉サービスを適切に利用するために必要な情報提供、その他援助を行うこと。
- ・ 社会福祉事業者または社会福祉活動者と密接に連携し、その事業または活動を支援すること。
- ・ 福祉事務所やその他の関係行政機関の業務に協力すること。

柳川市では 171 人（定数）の民生委員児童委員（うち主任児童委員が 20 人）が活動しています。

② 福祉委員

福祉委員は、各行政区より選出され、社会福祉協議会が委嘱します。地域において高齢者、子育て中の親子、障がいのある人など、援助を必要とする本人や家族に対して、相談相手となるとともに、民生委員児童委員と連携を図りながら、福祉のまちづくりを進めていく地域福祉の推進役です。現在、439 人の福祉委員が配置されています。